

## 研究課題名 当院での小児がん治療後に発生した限局性結節性過形成の調査

### 1. 研究の対象

西暦 1990 年 4 月 1 日から西暦 2017 年 12 月 31 日に当院で小児がんを診断を受け長期生存している患者

### 2. 研究目的・方法

小児がんの治療を受け長期生存している患者における限局性結節性過形成(FNH)の発症が報告されている。多くの場合では FNH は画像検査で肝内結節として発見されるが、肝細胞癌や腺腫との鑑別が問題となる。一方で、FNH の小児発生は極めて稀であり、小児がんも発症頻度が低いため、小児がん治療後の FNH の詳細は明らかとされていない。当院は以前から多数の小児がん患者の治療を行っており、診療録を後方視的に調べることで、小児がん治療後の FNH について有益な情報が得られると考えられる。この研究の目的は、小児がん治療後の FNH について、発見の契機、発症時期、画像所見、小児がん治療との関連などの情報を収集・解析することで、小児がんサバイバーに対するよりよい長期フォローアップを目指すものである。

研究期間： 実施承認日 ~ 西暦 2024 年 3 月 31 日

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療歴、FNH の発症時期、FNH の発見契機、CT や MRI などの画像所見、併存疾患等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

当院研究責任者：

新潟県立がんセンター新潟病院 小児思春期血液腫瘍科

当院研究責任者：笠原靖史

連絡先：新潟市中央区川岸町 2 丁目 15 番地 3

TEL：025-266-5111（大代表）